

調布市男女共同参画推進センター通信

しえいくはんず

2011. 3
No.35

『あたらしい風』統合特別号

しえいくはんずは、男性も女性も慣行や慣習にとらわれることなく、
自分らしくいきいきと生きられるよう応援している通信です。



パパの笑顔は家族を元気にします

CONTENTS

TOPICS

◆ パパの笑顔は家族を元気にします

- P 2 輝きフェスタ2011「イクメン対談～仕事も子育ても楽しもう♪～」
- P 3 輝きフェスタ2011「子どもと一緒にバルーンアート」
輝きフェスタ2011「お父さんと子どもの上手なお買い物
～米粉のロールケーキを作るために～」
- P 4・5 イクメンインタビュー「男性の育休取得について」

INFORMATION

- P 6・7 『あたらしい風』から『しえいくはんず』へ
- P 7・8 男女共同参画推進のための講座「ビストロパパとクッキング」
コラム 男女共同参画推進センターの一時保育



男女共同参画推進センター 輝きフェスタ2011

男女共同参画推進センターでは、毎年、募集に応じた地域の団体の代表や個人による実行委員会を立ち上げ、市民とセンターと協働で企画・運営を行い、輝きフェスタを実施しています。今回は、イクメンにちなんだ催し物をピックアップしてご紹介します。

イクメン対談

仕事も子育ても楽しもう♪

平成 23 年 2 月 26 日（土）13：30～ あくろすホール

1歳のお子さんの子育て、イクメン真っ最中の山田さんと、元祖イクメンと言うべき大ベテランの安藤さんとの対談は、山田さんの日々の悩みに安藤さんの温かい励ましをまじえたアドバイスがあり、お二人の実体験に基づく楽しいエピソードが盛りだくさんで、お二人の掛け合いが大変楽しい対談でした。

一口にイクメンといっても、言葉としては理解していても、男性が自分のこととして考えた場合、理想と現実のギャップがあると感じている方も多いのではないのでしょうか。対談の中で発せられた、「自分が変らなければ社会は変わらない」、「ママを支えるのは間接育児」などの言葉は、自分と家族との関係をもう一度見つめ直すキッカケとなり、世のイクメン男性への励ましになったのではないかと思います。

今回の対談には、ご夫婦で参加された方も含め多くの男性にご参加いただき、盛況のうちに終了し、男女共同参画への確かな足音、裾野の広がりが感じられました。

【参加者の声】

- ♪ 目からウロコが多数。(男性 40 歳代)
- ♪ 自分が思っていたこと、感じていたことを再確認できました。お話も大変おもしろく、有意義な時間をすごしました。(男性 30 歳代)
- ♪ 思っていた通りの楽しい対談でした。ただイクメンが育つには社会、企業の協力が絶対に必要なことが改めて解りました。(女性 30 歳代)
- ♪ とても楽しくきけました！！自分も夫もOSが古い？！というところに気がついたのが特に大きな収穫でした。夫も連れてきたかったです。(女性 40 歳代)
- ♪ 参考になる情報がたくさんありました。自分だけで悩むのではなく、妻と協力する考え方の参考になりました。(男性 40 歳代)



山田真哉さん

(会計事務所所長)
1976 年生まれ 一女の父親
2010 年 3 月長女誕生をきっかけに 2 年間の育児休業を宣言。企業の CFO や政府の委員、経済ドラマのブレーン等を務める。
著書：『さおだけ屋はなぜ潰れないのか？』『女子大生会計士の事件簿』

安藤哲也さん

(NPO 法人 Fathering Japan 代表)
1962 年生まれ 二男一女の父親
企業・一般向けセミナーや絵本の読み聞かせなどで全国を飛び回る。厚生労働省「イクメンプロジェクト推進チーム」座長、内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員などを務める。
著書：『パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方』『PaPa's 絵本 33』他多数。

【企画者の声】輝きフェスタ実行委員 小森美奈子さん

イクメンは、2010 年の流行語になったので関心を持つ市民のアンテナに引っかかり、参加者が増えるのではないかと期待しました。対談にすると、ひとりだけのお話より中味が濃くなり、味わい深い内容になるのではないかと思います。講師の山田さんは、著書『さおだけ屋はなぜつぶれないのか』で有名で、最近パパになったばかりの若いイクメンです。また、安藤さんは、「パパが笑顔になることで家族も社会も変わる」ことを提唱して、ファザーリング・ジャパンの活動を行っている経験豊富なイクメンです。お二人は以前一緒に仕事をしていたことがあったとのことで、パパになってから初めての再会を楽しみにして快く引き受けてくださいました。



当日は司会進行を担当しましたので、お二人の和気あいあいとしたトークが続き、参加した方が何かを持ち帰れるように進めていきたいと思いました。山田さんが「育児ノイローゼなんです」と率直に打ち明けられたのに対して、安藤さんがご自身の体験やさまざまな例をあげて応答され、楽しくすてきな時間になりました。

私は、調布の町で子育てを楽しみたいし、みなさんに楽しんでいただきたいと思います。それには近所のパパやママを知って、つながって、関わりを持つことが大事です。そのような仲間が増えていったら調布の町が活気づくのではないのでしょうか。

子どもと一緒にバルーン・アート

平成 23 年 2 月 27 日（日）14：30～
あくろすホール

男女共同参画推進センター主催の安藤哲也さん（ファザーリング・ジャパン代表）の講座受講をきっかけに、2年半ほど前にファザーリング・ジャパンの会員になり、各種イベントに参加するようになりました。イベントは多種多様で、親子で参加する2泊3日の合宿旅行ではたくさんのパパ友と出会えました。

バルーンアートを始めたきっかけは、昨年4月に代々木公園で行われたアースディでファザーリング・ジャパンがブースを出した際に、バルーンセットを持ってきていた会員のパパから教えてもらいました。現在、パパ友でバルーンアートができる人は5、6名います。イベントは、個人の判断で日程が合えば参加するので固定メンバーはおらず毎回違うパパ友とやっています。今までに、市町村の催事やデパートのおもちゃ売り場、子育て支援マンション内の託児所などで行ったことがあり、絵本読みとの組み合わせをして行うことも多いです。

以前は、育児や家族との関わり方を気軽に相談できるパパ仲間がいませんでした。この活動に参加して知り合ったパパ友と話してみると、みんな同じような悩みや葛藤を持ちながら育児をしていることがわかり、気が楽になりました。それからは子どもの前では楽しく笑って接するように心がけています。

今後は地元調布でのイベントに参加するなどして地域貢献をしてみたいですし、施設などを訪問して子どもたちと作ったバルーンで楽しく遊んでみたいです。バルーンアートを体験された方はおわかりと思いますが、そんなに難しいものではありません。初めての方でも基本動物と言われている「犬」などは10分程度で作れます。

大人になってお父さんになると自分がヒーローになることはなかなかありませんよね。でもバルーンアートでお子さんの好きなものを作ってあげると、簡単にヒーローになれるかもしれませんよ！子どもとのコミュニケーション手段の1つとして一度試されてはいかがでしょうか！



講師：小森健一さん



【参加者の声】

- ♪ 普段よく見かけるバルーンアートだが、実際に手にしてみても楽しかった。（男性 40 歳代）
- ♪ バルーンアートを手にして、子どもがとてもうれしそうに生き生きしていたからよかった。親も童心にかえて楽しめました。とても楽しいイベントでした。（女性 40 歳代）
- ♪ 講師の方の感じが大変良かった。（男性 40 代）

お父さんと子どもの上手なお買物

～米粉のロールケーキを作るために～

お金の流れについて学び、お父さんと子どもでマーケットに行き、500 円の予算内で材料の買い出しをして、ロールケーキを作りました。

- 【参加者の声】
- ♪ 計算が大の苦手な子どもも何とか頑張って定められた金額内で買物をすることができ、達成感を味わうことができたと思う。お金について考えさせる契機となった。



講師：清田裕理さん

初めて実行委員会企画で行われた「輝きフェスタ2006」で、「お父さんと子どもの上手なお買い物～おいしいパイをつくるために～」というテーマで講座を実施して以来、毎年、調布ファイナンシャルプランナーの会として輝きフェスタに参加してきました。最初は参加者が少なく、小学生と父親8組という定員の半分も埋まりませんでしたが、5年目にあたる昨年は早くから満員になり、今年はキャンセル待ちで待機していただくまでになりました。

当日は、個性あふれる米粉のロールケーキができあがり、おいしい、おいしいと親子で召し上がっていました。お父さんに子育てにかかわってほしいと願って始めた企画も少しずつ実を結びつつあることを本当にうれしく思います。男女共同参画の取組も「継続は力なり」という言葉を信じて、歳月をかけて、その成果を待つことが大切だと思います。これからもその一端を担っていきたいものです。

平成 23 年 2 月 27 日（日）14：00～
調理室





イクメンインタビュー

調布市内の企業で、唯一くるみんマーク(※)を取得している株式会社みずほトラストシステムズの為房義博さんと森脇 猛さん(総務部副部長)からお話を伺いました。男性社員の為房さんが育休を取ったことから、株式会社みずほトラストシステムズのくるみんマークの取得につながりました。

(株式会社みずほトラストシステムズでは、社員のワークライフバランスに向けてさまざまな取組を行っています。)

「取れるなら育休取ろうかな」というくらいの気持ちから

Q : 取得しようと思われた動機は？

為房 : 平成 17 年 4 月に育児介護休業法が変わって、配偶者が休んでいるが休んでいまいが、子どもが 1 歳になるまで育休(現在は 2 歳)が取れるようになりました。そのことを総務の掲示板で知って、「取れるなら取ろうかな」というくらいの気持ちでした。子どもが 1 歳になる直前の 1 か月半取りました。本当はもっと以前から取りたかったのですが、その間は無給になるのでこの時期になりました。

Q : 取ろうと思ったのは、ご自身の希望ですか、パートナー(妻)からの要望ですか。

為房 : 育児を全く経験しないというより経験した方がいいかなという感じです。妻としては自分が楽になれるから取ってもらって良かったと思ったようです。

Q : 為房さんが育休を取る前、パートナーおひとりでお子さんをみていたのでしょうか。

為房 : そうです。妻が育休を取って、家でずっと子どもの相手をしていましたのでストレスがたまっているみたいでした。

Q : 自分ひとりでやらなければならないとしたら、育児がなくなりますよね。為房さんが育休を取ったことで変わりましたか。

為房 : 私が休みを取ってだいぶ違う感じになりました。

森脇 : 家に帰ると妻が話を始める。疲れているけれど「そうだね、たいへんだったね」と言うだけで違うと聞きます。一緒にいるだけでもずいぶん違うと思いますね。

為房 : そういことがないと、家庭が円満にならないこともあります。

子どもとの 24 時間が経験できてよかった！

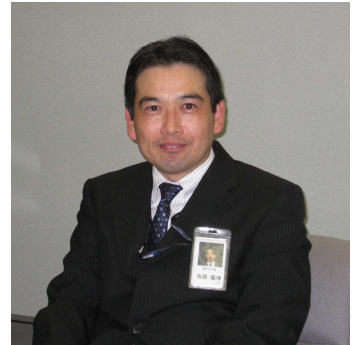
Q : 取る前と取った後ではお子さんに対して何か変わりましたか。育休中はどんなことをしていましたか。

為房 : 変わらないですね。妻とふたりで子どもをみていました。今も風呂は毎日入れています。保育園の送りは自分がやっていますし、病院も自分が連れていく方が多いです。



Q : 育休を取ってよかったことはありますか。

為房 : 子どもとの 24 時間がどういうものかというのを経験できたのは良かったです。会社から帰ってから子どもに接するだけだと時間が限られていますから。



為房義博さん

Q : 育休を取得したデメリットはありますか。

為房 : デメリットとしては、給与が支払われないことです。休みは確かに取れますが、給料の支払いがない。少しでも会社に支援してもらえると助かると思います。

森脇 : 昨年から変更になり、今は、最初の 5 日間ですが(出生日から 8 週間以内)有給になっています。女性の産前産後休暇について当社は 100% 支払い、ボーナスも出しています。できる限りよい方向に向けていろいろなことをやっていきたいと思っています。

男性の育休取得で特別扱いされることへの違和感

Q : 育休を取ったことについて同僚の方たちの反応はどうでしたか。

為房 : 特になかったです。

森脇 : 男性では確かに第 1 号ですが、会社としては育休を特別なことだと思っていません。今も女性 5 人が休業しています。だから反応はなくて当たり前です。

為房 : こうしてインタビューされているのが、そもそも不思議に思います。女性には、なぜ育休を取ったのかと質問しないですよね。それなのにどうして自分だけ聞かれるのかという違和感があります。

Q : 社会では、まだ「男性は仕事、女性は家事・育児」という性別役割分業意識が根強いので、男性が育休を取ったことがトピックになるのではないのでしょうか。

為房 : 電車の運転手さんは、昔は男性ばかりでしたが、最近女性が増えてきていますよね。女性がなくても当たり前ということになれば、なぜ運転手になったのかとは聞かないですよね。男性の育休もだんだんそうになっていくのかなという気がします。男女の性別は関係ないと思います。

ご多用中に貴重なお話をお聞かせいただきまして、本当にありがとうございました。

※くるみマークとは？

少子化対策として子育て支援に積極的に取り組む企業などへの認定マークで、そのマークの愛称を「くるみん」と呼んでいます。
「くるみん」は包む(くるむ)を表し、赤ちゃんを優しく、暖かく「おくるみ」で包むことを表したもので、**企業とその職場ぐるみ**の少子化問題や子育てに取り組む姿勢も表しています。



くるみんマーク取得企業のインタビューを終えて

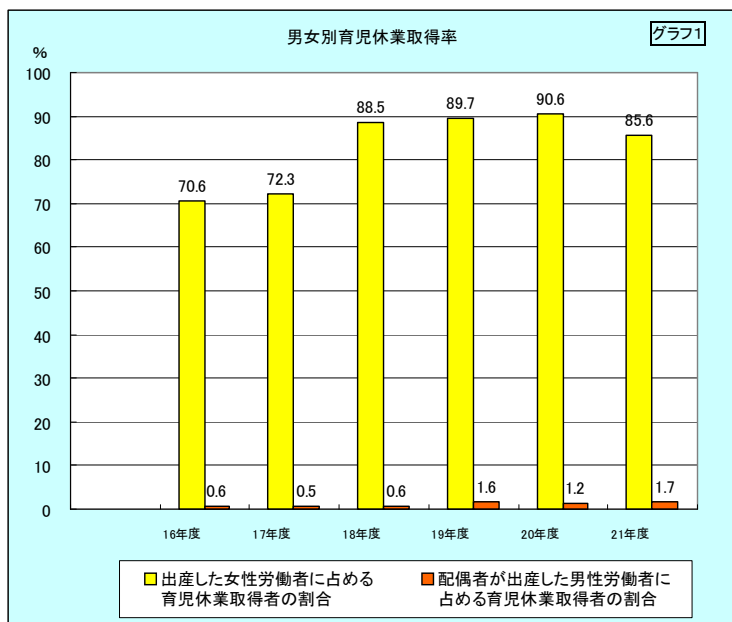
調布市内の企業でくるみんマークを取得している(株)みずほトラストシステムズの社員の方からお話を伺いました。

まず、くるみんマークを取得した経緯についてお伺いしたところ、業務の特殊性から高い知識・技術を習得した社員が長く定着できるよう配慮してきた結果として、くるみんマークを取得することになったとのことでした。

仕事をするうえでの男女間の差はなく、女性のマネージャーも居て、昇進や待遇、人事の面でも男女で差がなく、男性の育児休業取得については、平成22年6月から男性が育休を取得したとき最初の5日間を有給にするなどの対策を進めてきたとのことでした。

また、一斉早帰りの日を設けたり、有給休暇取得が進むよう声かけするなど社内のワークライフバランスを進めており、社員同士のコミュニケーションが活発になるよう仕事外においてもボーリング大会を企画するなど配慮しているとのことでした。

育児における男性の現状

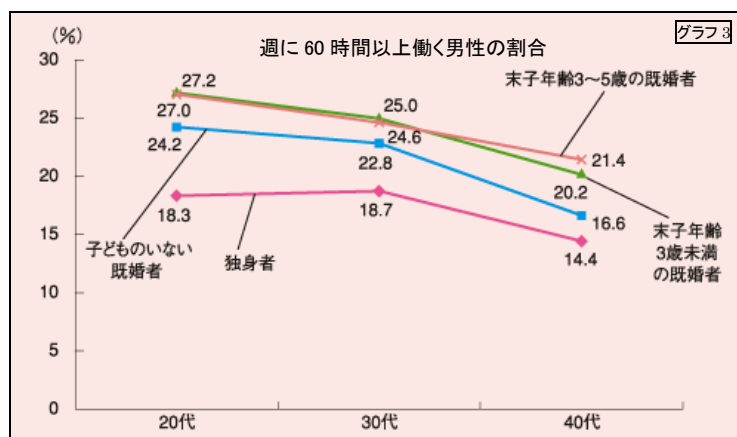


厚生労働省雇用均等・児童家庭局「女性雇用管理基本調査」
厚生労働省雇用均等・児童家庭局「雇用均等基本調査」より作成

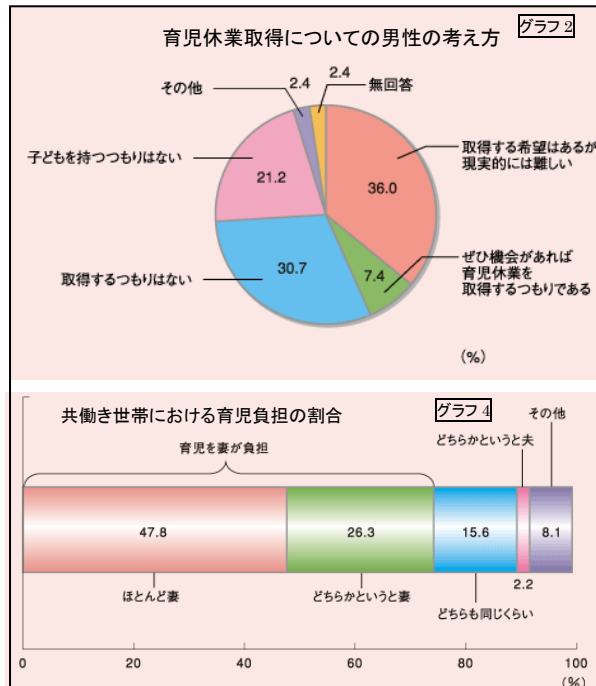
グラフ1によると、平成21年度に育児休業を取った女性85.6%に対して男性は1.7%に過ぎません。ところが、グラフ2では、育児休業を取得するつもり男性は7.4%、取得希望はあるが難しいと考えている男性は36.0%にのぼっています。

週に60時間以上働く男性の割合を年代別、子どもの年齢別で調べたグラフ3では、どの年代でも、5歳までの子どもを持つ男性は20%を超え、独身者や子どもの居ない男性の割合を上回っています。このことは育児分担に影響を及ぼし、グラフ4で明らかなように共働き家庭においてさえ育児役割は妻に偏っています。男性が育児休業を取れない背景には、働く時間の長さも関係しているのではないのでしょうか。

育児休業を希望する男性の取得が現実のものになるように、ワークライフバランスを進めていきたいものです。



(出典)平成18年度 国民生活白書



(出典)平成18年度 国民生活白書

センター通信「しえいくはんず」と市民編集委員による「あたらしい風」の統合

平成2年3月に創刊された『あたらしい風』は、平成21年度3月発行のVol.22を最後に平成22年度から男女共同参画推進センター通信『しえいくはんず』に統合されることになりました。創刊当時は「婦人問題広報紙」として発行され、『あたらしい風』という名称は「女性の自立と男女共同参画社会の建設をめざして」市民の方々の自由なご意見と行政の情報を交換し、あたらしい風がさわやかに広がっていくようにという願いを込めて命名されました。創刊号で「時代と共に変わりつつある男と女」を特集して以来、「男性の子育て」、「女性と仕事」、「ともに生きる」、「日常にひそむ暴力(DV)」、「母と娘」などのテーマを取り上げ、Vol.22の最終号まで市民による編集会議で活発に議論し、入念な編集作業を経て作り上げてきました。取り上げられたテーマは歳月を経た今なお続く課題です。

『しえいくはんず』は男女共同参画社会基本法が成立した2年後の平成13年5月に、男女共同参画推進課の広報紙として創刊され、男女共同参画推進センターに移転した平成17年からセンター通信になりました。『しえいくはんず』には、男性も女性もお互いを尊重し、対等なパートナーとして家庭や仕事、地域に参画し、誰もが生き生きと生活する社会にしていきたいという願いが込められています。『あたらしい風』から続く課題は、『しえいくはんず』でも取り上げて、市民のみなさんとともに考えていきたいと思います。統合にあたって、編集にかかわった4人の方から『あたらしい風』への思いを寄稿していただきました。

vol.6～vol.9 編集委員 呉 文子さん

私が『あたらしい風』に関わったのは、6号から14号までの9年間でした。その間「隣の国の女たち」というコラム欄に、韓国の女性たちが置かれている差別状況などについて紹介させていただきました。

特に6号は印象深く、いまでも懐かしさをともなっていて思い出されます。見開き2ページにわたり、夫の故郷での祭祀(チュサ)を例に挙げながら、韓国の風俗や文化、慣習においても、儒教的な男尊女卑思想が根強く残っていることを書かせていただきました。

あれから20年近く、韓国では民法が改正され、戸主制も廃止され、国籍法の改正により父母両系主義へと、女性問題は大きく変貌を遂げました。それは、長い歴史的脈絡のなかで憤懣や疑問を自己の生き方を問い直すバネにして、古いものを追いやり、新しいものを呼び起こす女たちの粘り強い運動があったからです。しかし、長い間に変貌を遂げた面と、百年一日の如く変らない面が共存しているのは、韓国も日本も同じなのかもしれません。少子化やDV、ジェンダーフリーの問題など解決しなければならない問題が、未だ国境を越えて山積しています。

あの当時『あたらしい風』では、在日コリアン女性については、言及できませんでした。在日社会の分断と儒教的な価値観が根強い家庭風土のもとで、女性問題と民族的課題を切り離すことができないというジレンマもあったのですが、大きな落し物をしたようでいまでも悔いが残っています。

ともあれ、在日コリアンの私が、地域住民としての仲間意識が芽生えたのは『あたらしい風』に関わってからのことです。そこで私に課せられた命題が何であるかも発見できたのですから、大きなターニングポイントになったのはたしかです。私にも、あたらしい風をもたらしてくれました。



vol.9～vol.16 編集委員 守屋 和子さん

ほんの1～2年のつもりで参加した『あたらしい風』の編集でしたが、面白くて、結局8年間、続けて編集に参加しました。毎年新しい編集委員が加わるので、同じ『あたらしい風』の編集作業といっても、議論の中身も、作り上げていく途中のようすも年々異なり、飽きることはまったくありませんでした。

ともに編集作業をしたメンバーは、年齢もさまざま、暮らし方や考え方もさまざまでしたが、子育て、家事、仕事と忙しい毎日であっても、新しいことにも挑戦したい、もう一歩先へ進みたいと輝いている人がたくさんいたので、皆さんからいっぱい刺激をもらいました。しかも、それまでの一人暮らしで仕事漬けの世界では出会う機会があまりなかった人が多かったので、話し合いや作業を通して、私のものの見方はずいぶんと広がりました。その意味でも、参加して本当によかったと思っています。



vol.15, vol.16 編集委員 熊崎 清子さん

今度『あたらしい風』が廃刊されることを聞き驚き、残念に思っています。私とこのコミュニケーション紙の出会いは2001年春、当時勤務していた、社団法人発行の情報誌宣伝のために旧婦人会館へ訪ねた折、『あたらしい風』の編集内容に興味を持ち、早速、編集メンバーへ参画しました。

編集責任者から、編集メンバーの関心テーマを話し合いで



まとめ、印刷のみ男女共同参画推進課が依頼する、とにかく1年間期間があるから検討し、文字通り『あたらしい風』を吹きこんでほしいと説明されました。

2003、2004年に発行した vol.15、vol.16の編集に携ったメンバーの関心テーマは特異性もあるテーマで、悩み苦しみました。しかし、私は参画して、さまざまなことを学び、本当に良かったと思っています。話し合いで方向性を見出すということは、発言しなければ私が何を考え、どのようにしたいかみなさんの理解を得られないし、提案が取り入れられないこともあります。自分の考えを自分の言葉で主張し、文字で表現する大切さを編集メンバーから会得し、編集の楽しさを学びました。そして、完成したときの喜びは、その後さまざまな分野に参画する際の大きな糧になりました。

全国の男女共同参画推進センターが発行している情報紙の中でも、「市民による手作り」というところに特徴のある情報紙でした！

変わる『しゃいくはんず』に期待しています。

『あたらしい風』の編集に携わった経験は、私にとって有意義なものでした。調布に越してきて間もなく、幼い息子と二人で過ごす時間が大半を占めていたので、保育付きで個人としての活動ができることは有難いことでした。

毎回の編集会議では、異なる年齢、立場の人と意見を交わすことで、視野が広がり、様々な気づきも得ることができ、自分自身の成長の場ともなりました。もちろん原稿を作成するにあたって、時間をつくるのに苦労した時もありましたが、育児と家事が中心の毎日にメリハリができ、自分自身の人生を見直す機会にもなりました。息子にとってもベテラン保育士との一对一の関わりは、安心で充実した時間となり、彼の発達にもとても役立ったと思います。

編集は初めての仕事だったので最初は不安もありましたが、職員の方の力添えのおかげで、毎日が楽しみな時間となったことを感謝いたします。



男女共同参画推進のための講座

ビストロパパとクッキング

男女共同参画推進センターでは、男女共同参画の裾野を広げ、男性や次代を担う子どもたちに積極的にアプローチするため、「日常家庭業務への男性の参画を促す講座等の実施」や「男性への意識啓発の推進」を男女共同参画推進プランの施策として位置付けています。

これらの施策を推進していくため、平成22年度はお父さんが子どもと一緒に料理をして楽しいひと時を過ごす講座を企画しました。日本で唯一の「パパ料理研究家」としてご活躍されている滝村雅晴さんを講師にお迎えし、1月30日(日)・3月5日(土)に「ビストロパパとクッキング」を実施しました。

多くの方にお申込み・お問合せいただき、大変好評のうちに終了しました。お問合せいただいたにもかかわらずご参加いただけなかったご家族には申し訳なく、心苦しく思っておりますので、来年度も引き続きイクメン企画を考えています。市報や男女共同参画センターのホームページにて順次お知らせしますのでご覧ください。



滝村さんの提唱する
パパ料理の掟

●パパ料理の掟

- 1・時間をかけすぎないこと！
- 2・道具にお金をかけすぎないこと！
- 3・食材にお金をかけすぎないこと！
- 4・後片付けまできちんとできること！
- 5・やっぱり、料理がおいしいこと！

Copyright(C) 2011 by Stone Paper | Masaharu TAKIMURA All rights reserved.

【参加者の声】

- ♪ 料理を作ったことはあまりなかったのですが、これを良い機会に家でも料理をやりたいと思います。
- ♪ 子どもと一緒に体験する機会を作っていただけてありがとうございました。今回のように気軽に参加できるイベントがあれば是非参加したいです。子どもはもちろん自分が楽しめたことが good でした。
- ♪ 週末は妻の休養日にするという目標に向け、日々レシピを増やすよう努力していますが、本日のような講座は息子とできる非常に有意義なもので、今後も料理、デザート関連のこのような企画を続けていただけたらうれしいです。



2種類のソースで家族満足！ 手作りハンバーグ（5人分）

＜ハンバーグ＞

合びき肉（牛+豚 400g）
玉ねぎ（3/4 個 みじん切り）
牛乳（50CC）
塩（小 1/2）
ナツメグ（適量）
粗引きこしょう（適量）
生パン粉（1 カップ ふわふわしたままで）
オリーブオイル（大 1.5）

＜付け合わせ野菜＞

にんじん（1本）
いんげん豆（5本）
じゃがいも（2個）

今夜はパパと！

おいしいおうちごはん
を作りませんか



作り方

1. 玉ねぎはみじん切り。じゃがいもは皮をむいて8等分。いんげん豆は4等分。にんじんは3センチぐらいの短冊ざりに。
2. 鍋に水をはり、塩（分量外）加えて、じゃがいも、にんじんを加えて火にかけ沸騰したらいんげんを加えて茹であがったらざるにあげる。
3. ボウルに、ひき肉と塩をいれよく手でこね、玉ねぎ、牛乳、こしょう、ナツメグを加えて粘りがでるまで混ぜる。最後にパン粉を加えて再びこねる。
4. 手に油（分量外）をつけて、1を5等分し、両手でタネをキャッチボールするようにして形を整え、まな板の上にラップを敷き上にならべておく。
5. フライパンにオリーブオイルをひき中火にかける。4を若干真ん中をへこませて並べて焼く。フライパンを水平に前後にゆすってハンバーグの下に油がなじむようにする。裏面が焼けたらひっくり返し、蓋をして弱めの中火で4分ほど焼く。焼き色がついたら出来上がり。
6. お皿にハンバーグを盛り付け、4のソースをかけ出来上がり。



アト辛い大人味：

- 普通の食べ方で。あえて言うなら白ワインが好き。

子手伝い：

- ハンバーグのたねをこねる | ハンバーグをカタチづくる

＜玉ねぎソース＞

材料：

玉ねぎ（1/4個）
しょうゆ（30CC）
お酢（30CC）

作り方：

玉ねぎをすりおろし、しょうゆとお酢を混ぜる。

＜トマトバターソース＞

材料：

トマト（1 個）
バター（大 1.5）
塩（小1/4）
粗引きこしょう（少々）

作り方：

5のフライパンにバターを入れ中火で溶かし、ざく切りにしたトマトと、塩こしょうを加え煮詰めて出来上がり。



Copyright(C)2011 by Bistrot Papa | Masaharu TAKIMURA All rights reserved.

「今日はどんなお子さんに会えるかな？」と出会いを楽しみに

日々の保育
で思うこと

男女共同参画 推進センターの 一時保育



「保育室を楽しみにしているんですよ」という保護者や、「先生、またね！バイバイ」と言う愛らしい笑顔に支えられ、癒されながら保育のお手伝いをさせていただいています。

一時保育を初めて利用されるお子さんにとっては、知らない場所で大好きな保護者の方と離れるのはものすごく不安です。その不安を「泣く」ということで表現するお子さん。緊張顔のまま、保育室の片隅で様子をうかがうお子さん。年齢、性別、お子さんそれぞれで全く違います。さまざまな遊びを通してはじめは不安そうなお子さんでも笑顔が増えていきます。

保護者の方には、保育室でのお子さんの様子や子育てについてお話し、安心して預けていただけるよう心がけています。一度いらしてみませんか。

【対象】1歳以上就学前（要予約）※講座講演会参加、相談利用の方のみ



発行／調布市男女共同参画推進センター

〒182-0022 調布市国領町 2-5-15 コクティ 3 階

TEL／042-443-1213 FAX／042-443-1212

メール／danjyo@w2.city.chofu.tokyo.jp

ホームページ／http://chofu-danjyo.jp/

交通機関／京王線国領駅 北口 徒歩 1 分

【相談予約受付時間】

月～金曜日（土日祝日、年末年始を除く）

8 時 30 分～17 時 15 分

